

かねこの考え



パートナーシップ宣誓制度は、福岡市、北九州市、古賀市、福津市、粕屋町、そして今年度より直方市、苅田町、田川市の各自治体で導入されています。また、福岡県でも導入されていますが、市町村に制度がないと利用できない行政サービスがあります。誰もが少しでも安心して暮らせるよう、パートナーシップ宣誓制度が市町村でも施行されることが、性に関する意識改革につながると考えます。

【性の尊重とあらゆる暴力の根絶について】

【かねこ】国や県では、性暴力根絶の取組が強化されている。本市での性暴力の現状は把握しているのか。

【市民協働部長】正確には把握できていない。

【かねこ】第2次男女共同参画後期プランでは、新規事業で性暴力の防止がある。本市の実態を調査すべきだ。

性暴力根絶のために庁内の連携をどう進めていくのか。

【市民協働部長】関係各課が連携し、横断的に講師や活動団体等の情報提供を行うことで取組の推進を図る。また、性暴力や性犯罪に関する情報を共有し、市民の理解促進を図る広報・啓発について調査を行い、取組を進めていく。

【かねこ】パートナーシップ宣誓制度も性暴力根絶も性の尊重という点でジェンダー平等推進に係るものだ。全庁をあげ取組んでほしい。

かねこの考え



文科省は「生命（いのち）の安全教育」をすすめるため、動画などの教材を幼児から高校生までの発達段階別に作成し利用できるようにしています。福岡県では、「福岡県性暴力根絶条例」に基づき、性暴力対策アドバイザー派遣事業があり、飯塚市でも今年度は全小学校の5、6年生を対象に、来年度は全中学校の全学年を対象に実施予定です。

しかし、文科省や福岡県の事業を実施しても十分ではありません。国には、国際セクシュアリティ教育ガイダンス（国連 ユネスコ・WHO世界保健機関などが作成した国際基準）が実施できるよう取り組んでほしいと考えます。まずは、飯塚市内の学校や地域で性教育に取り組んでいる事業を把握し、共有してほしいと訴えました。

つぶやきさんの豆知識



包括的セクシュアリティ教育とは

身体や生殖の仕組みだけではなく、ジェンダー平等や性の多様性といった人権尊重を基盤にした性教育です。

科学的根拠に基づき、性や人権など年齢や時期に応じたカリキュラムです。



性や人権などの学びをとおして最終的に「ウェルビーイング（心身ともに健康で、持続的に幸福な状態）」について考えます。

気になる議案



飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正するもの

定数を28から24に減らすもの

〔理由〕審議にあたっては、即決するのではなく、定数のあり方について広く市民の意見を聴いたうえで、全議員による協議を行い、1年後を目途に結論を出してほしい。

議員定数のあり方に関する調査特別委員会を設置委員は28名で構成
委員長 江口徹
副委員長 兼本芳雄

かねこの考え



今後、議会として、市民のみなさんに意見を聴く場をつくり、協議していく予定です。暮らしやすいまちにするために、議員、議会のあり方が問われています。ぜひ、かねこにみなさんの考えを聞かせてください。

藤間議員による不適切発言

5月30日の飯塚市協働環境委員会で、藤間隆太議員が、傍聴していたかねこに向かって「かねこ議員が真面目に男女共同参画の話をしても再生回数は、200, 300, 400くらいだが、セーラー服を着てしゃべれば、3000, 5000回いくんじゃないか」と発言しました。

この問題はかねこ個人の問題ではなく、男女共同参画推進を阻害するものだと考え、2つの行動を起こしました。

（1）三者に抗議文を提出

かねこは、議長、協働環境委員長、藤間議員に対して、抗議文を提出しました。

議長

- ①全議員が男女共同参画の研修を受講できる機会をもつこと
- ②全委員長が議事進行についての研修する機会を持つこと

協働環境委員長

- ①公的な場で謝罪すること
- ②適正な議事進行についての研修を受けること

藤間議員

- ①公的な場で謝罪すること
- ②男女共同参画・ジェンダー平等の現状と課題について学ぶこと
- ③自身の無意識の思い込みについて見つめ直すこと

（2）「福岡県議会ハラスメント根絶条例」に基づき、調査依頼

福岡県では、2023年4月1日に議会でのハラスメントを根絶することを目的に条例が制定されました。そこでかねこは、福岡県議会事務局に調査を依頼したところ、弁護士から状況の聞き取りがありました。

後日、担当の弁護士から「加害議員一人の問題ではなく、議会関係者全体のジェンダー及びハラスメントについての理解認識不足が感じられ、議員研修や長期的継続的な取組が必要。県議会事務局は研修などの要望にはできるだけ支援する」と通知文が来ました。

7月21日に全議員対象で研修が開催されました

- ① 男女共同参画・ジェンダー平等に関すること

講師 福岡県議会議員 中嶋玲子さん
(元福岡県男女共同参画センターあすばるセンター長)

- ② 議会運営に関すること

説明 飯塚市議会事務局職員



つぶやきさんとつぶつぶさん

今回、不適切発言をしたのは、一人だけでしょ。その人だけちゃんと勉強してもらえば良くない？他の人の研修とか、必要？



不適切発言が起こるとき、その人だけの問題と考えがちだね。でも、意外と大きいのが「このくらい大丈夫」と思わせる環境。人権侵害の背景には、それを助長したり、加害行為を許して傍観している人々がいることが少なくない。今回のような事案は、みんなの事案だよ。



市議28名のうち女性がただ一人だから、不適切発言をされちゃったのかな。



多様性に乏しい集団で、多数派が少数派を攻撃しやすいという構造はあるよね。ただ、どんな理由があろうとも、人権侵害を受けていい人なんていない。被害者に黙るよう説得するなどの行為はもちろんNG。被害者が「被害にあいました」「困ります」と声を上げられる社会にしていくなため、ぜひ自分事として考えよう。

